令和８年度　援護事業功績者に対する福岡県知事表彰及び感謝状受賞者

援護事業功労者に対する福岡県知事表彰　受賞者１１名

氏　　名	功績期間	功　績　内　容
しむた きょうか 紫牟田　京香	33年8ヶ月	近年10年ほど、みやま市遺族会瀬高支部の事務局長及び会計係を兼務しており、毎年行う「みたままつり」「英霊の法要」の準備や式の司会を実施、併せて、日頃の役員会の徴集会議を進行している。 瀬高町の忠霊塔の草取り、清掃を会員で年５回実施、忠霊塔前を花壇にした。高齢化で協力できる会員が減る中、花苗の植栽、花の世話、緑の基金の補助金申請、実績報告を１人で実施している。
わだ　しょうし 和田　章仕	26年8ヶ月	現役時代は高校の教師として戦争の悲惨さを生徒に伝え、教師をしながら遺族会の理事を担ってもらった。 平成30年に前事務局長が急に倒れ、前も後も分からない中、高田支部の事務局長として支部の立て直しをしていただいた。地元遺族会の牽引役として英霊顕彰事業等の活動をし、遺族会の道しるべとして信頼を集めている。
よしだ　　すみこ 吉田　スミ子	30年8ヶ月	平成8年より福島校区遺族会にて婦人部長を務められる。平成19年からは八女市遺族連合会監事と評議員、令和元年からは遺族連合会の理事とともに、福島校区の遺族会会長になられ、校区の遺族会活動の推進とともに、八女市遺族連合会事業の推進に貢献されている。
さけみ　やすのり 酒見　康則	23年8ヶ月	酒見氏は平成15年より星野村遺族会・八女市遺族連合会星野支部の評議員、令和3年からは八女市遺族連合会の理事、副会長、そして星野支部の副会長、会長と要職を歴任された。退任後も監事として遺族会の役職を務められており、長年にわたり遺族会の組織運営と発展に多大なる貢献をされた。 戦没者追悼式や慰霊行事において、常に遺族の先頭に立ち、平和の尊さを次世代に伝える役割を遂行されている。遺族会活動の基盤を支え続けられた活動の功績は顕著であり、本賞を授与するに十分に値する。
おおや　こういち 大屋　湊一	19年8ヶ月	嘉麻市戦没者遺族会の会長、理事を歴任され、国や県の情報にも精通されており、遺族会のリーダー的存在となっている。 硫黄島への遺骨収集事業にも8回ほど参加している。また、硫黄島の日米合同慰霊祭にも4回参加され、後に指導者として活躍されている。 嘉穂支部大隈地区の会長として長年にわたり尽力されている。
せと　くにみ 瀬戸　邦美	23年8ヶ月	嘉麻市戦没者遺族会の役員（副会長3年、理事7年）を10年間務め、本会の充実、発展に功績を残された。 嘉麻市戦没者遺族会嘉穂支部の役員（会長7年）を長年にわたり務められ、本会のリーダーとして活躍された。 嘉穂支部千手地区の会長を22年間の長きにわたり務められ、千手地区の遺族会活動を後世に残す礎を築かれた。
まさき　やすゆき 眞﨑　保幸	19年8ヶ月	嘉麻市戦没者遺族会嘉穂支部の会長、理事等を長期間にわたり歴任され、嘉穂支部主催の戦没者追悼式や忠魂碑の整備等に尽力された。 嘉穂支部大隈地区の戦没者遺族活動に率先して参加された。

ひらしま　ようこ 平嶋　洋子	23年8ヶ月	平成15年4月より築上町八津田地区の女性部長、平成29年4月より築上町八津田地区の会長として、遺族の方々の相談など献身的に努められ、地区の会計や会費の集金、遺族新聞の配布など、地区のために多岐にわたり尽力されている。また、築上町の遺族会の会長にも就任されており、各地区の取りまとめや会計も担っている。 築上郡遺族会においても、円滑な運営に協力されており、遺族の援護事業、英霊顕彰に尽力されている。平成30年6月から現在まで、県遺族連合会の評議員を務めており、令和8年6月からは郡の女性部長に就任し、郡や県の諸行事にも積極的に参加されており、これまで23年の長きにわたり、英霊顕彰、遺族の援護事業に大変貢献されており、その功績は大きい。
おおき　ふみこ 大木　冨美子	29年8ヶ月	平成１９年に理事に就任すると同時に校区の筆頭理事（校区長）を引き受け、会員相互の連絡調整役として会員の融和を心がけ、会員の厚い信頼を受けた。 その後は県遺族連合会の主催行事や英霊顕彰活動など熱心に取組んでいたが、体調不良により理事職は退任したが、後継理事や校区長に対して、自らの経験をいかんなく伝えて、活動が停滞しないよう貢献した、その功績は大である。
むろぞの　よしあき 室園　義昭	18年8ヶ月	日頃から地域での信頼が高く、羽犬塚校区南徳久区の班長、同校区の代表理事として尽力してきた。 また、校区はもとより、筑後市全体遺族に対する相談対応、援護事業、英霊顕彰に奔走し尽力してきた。この功績は大である。
こが　あきら 古賀　明	28年8ヶ月	永年にわたり、校区遺族会役員並びに市遺族会役員として、遺族会の円滑な運営に尽力され、その卓越した行動力や指導力は関係者の高く評価するところである。 また、遺族援護活動並びに英霊顕彰活動や忠魂碑維持管理などへの取り組みにも極めて献身的にあたられ、その熱意は他の模範とするところである。

援護事業功労者に対する福岡県知事感謝状　受賞者１１名

氏　　名	功績期間	功　績　内　容
かばしま　たかゆき 樺島　孝之	56年8ヶ月	長い間、瀬高町遺族会、合併後はみやま市遺族会役員として遺族会発展のため尽力してきた。 特に、瀬高支部忠霊塔の維持管理に関しては植木の剪定、伐採、草刈等、自分の機械を持参の上、毎年協力している。
ばば　ともこ 馬場　トモ子	25年6ヶ月	平成13年より代議員を務められ、長年にわたり遺族会の事業に参加されている。 平成27年より校区の女性部長や八女支部の副支部長、平成29年には八女市遺族連合会の監査委員を務められ、令和元年からは八女市遺族連合会副会長兼女性部長として、遺族会の事業推進に貢献してきた。 昨年より語り部事業の語り部としても参加されている。
ふじた　となみ 藤田　図南美	20年8ヶ月	藤田氏は合併前の星野村遺族連合会であった平成18年から評議員として活動され、市町村合併に伴う遺族会合併後の八女市遺族連合会においても、星野支部の評議員として、20年余り継続して運営と発展に多大なる貢献をされた。 評議員就任以来、遺族の立場に寄り添い、細やかな心遣いをもって会費の集金、慰霊塔の清掃などの活動に取り組まれ、積極的に戦没者追悼式へ参加されるなど、長年にわたる献身的な活動と卓越した奉仕精神は、本賞を授与されるに十分に値するものである。
まつおか しゅういち 松岡　修一	25年8ヶ月	嘉麻市主催の戦没者追悼式実現のために奔走された。その結果、令和7年10月24日に第1回の追悼式が開催された。 嘉麻市嘉穂支部戦没者忠魂碑への道路拡張のための取組みの結果、車が近くまで入れるようになり、便利になった。 25年間の長期にわたり、嘉麻市戦没者遺族会の充実、発展のために尽力された。 令和5年より、嘉麻市戦没者遺族会の存続の課題解決のために会長として活動している。
くらた　たかしげ 倉田　隆重	17年8ヶ月	岡垣町戦没者遺族会の副会長、会計と地区役員を兼務され県追悼式および県戦没者遺族大会に積極的に参加し、岡垣町戦没者合同慰霊祭の準備から実施、終了まで従事、護国神社に会員と共に参拝や岡垣町戦没者慰霊塔の清掃に参加され、会員の模範的な活動をしている。
まつもと　たきこ 松本　多喜子	13年8ヶ月	夫が健在時より小倉南北区遺族連合会会長の夫人として、永年にわたり、英霊顕彰運動の推進、遺族会の諸事業に尽力されている。 夫亡き後も、校区の要として、校区会長・遺族会の理事を努められて、高齢化著しい中にあっても、当遺族会の諸事業に尽力され、誠意ある行動で信頼を得ている。
やまぐち　ふきこ 山口　冨喜子	21年8ヶ月	平成１７年４月から大野城市遺族会地域担当世話役として２１年余にわたり地域会員との連絡調整や各種事業への参加呼びかけなど遺族会活動の推進に尽力されてきた。 会員一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな活動を続けられ、慰霊祭や護国神社諸行事への参加促進など地域における遺族会活動を支えられてこられた。永年にわたる献身的な活動は他の模範となるものである。
きど　けんじ 城戸　賢児	20年7ヶ月	平成１８年５月から大野城市遺族会相談役として２０年余にわたり遺族会活動の発展に尽力されてきた。豊富な経験と見識をもって会の運営に助言を行い、役員の相談に応じながら円滑な事業推進に大きく貢献された。また、会員相互の親睦と福祉の向上、護国神社をはじめ英霊顕彰事業への理解と協力にも努められ、永年にわたり遺族会の発展に寄与された。その功績は誠に顕著である。
しもがわ　しげよし 下川　重能	18年8ヶ月	日頃から地域での信頼が高く、下妻校区常用区班長として尽力してきた。また、校区、区はもとより、市全体の相談対応、援護事業、英霊顕彰に奔走し尽力してきた。その功績は大である。

（外２名）